

IIS NEWS

☆創立5周年を記念した諸行事☆

昭和29年5月31日は、生産技術研究所が発足して5周年に当る。これを記念する行事が5月31日と6月1日の2日間にわたって行われた。第1日午前は、生研職員に対し、星合生研所長、矢内原東大総長、西村奨励会理事長の講演があり、午後は、奨励会評議員の集まりとし、生研の最近の研究事項を展覧する外、定例の評議員会と茶会を開いて歓談をつくした。第2日は

全日、招待者並びに一般希望者に対する公開日とし、午後には、本所講堂において生研所員、谷安正教授、金森九郎教授、池辺陽助教授等による学術講演と学術映画の上映があり、諸行事を終った。今回展覧に供した研究事



写真 1

写真 2

項は、本館大会議室の集中展示場において久保田教授の干渉フィルター外27点、各研究部の現場展示においては、各研究部の主なものをほとんど、もうらし、42カ所に及んだ。また、今回の来会者は、各会社の技術関係



者、各大学の研究機関関係者を根幹として千余名をかぞえ、研究紹介に役立った。

ここに掲げた写真1は、集中展示場第1日の状景、写真2は、第3部高木研究室の研究公開第2日の状景である。

部 外 活 動

一講演一

- ◇助教授 大島康次郎 助手 富成 襄「プロセス制御系のアナログ回路」機械学会講演会(1954.3.20)
- ◇教授 永井芳男・助手 田辺正士・助手 後藤信行・堀井満夫「アントラセンに関する研究(第6報)アントラセン—9,10—ジクロロドの生成並びにその性質について」日本化学会第7年会講演会(1954.4.1~4)
- ◇教授 永井芳男・助手 田辺正士・助手 後藤信行・鈴木国夫・山田義幸・天城康雄「アントラモンに関する研究(第7報)9,10—ジクロロ・アントラセン—9,10—ジクロロドの生成並びにその性質について」同上
- ◇教授 永井芳男・助手 田辺正士・助手 後藤信行・鈴木国夫・天城康雄・山田義幸「アントラセンに関する研究(第8報)アントラセンのトリクロロ置換について」同上
- ◇教授 永井芳男・萩原 篤「アゾレゾルシンの金属化合物について」同上
- ◇助手 後藤信行・教授 永井芳男・鈴木幸雄「アセナフテンに関する研究(第6報)金属粉末を用いるクロロ置換について」同上
- ◇助手 後藤信行・教授 永井芳男・助手 田辺正士・渡辺謙治「アセナフテンに関する研究(第7報)ベンゾイレン—ペリレン系染料の合成について」同上
- ◇教授 永井芳男・安倍義人・村上永次・郷哲男「ピレンの利用に関する研究(第8報)4—オキシピレン」同上
- ◇教授 永井芳男・安倍義人・雇員 青山正壮・福岡末吉「ピレンの利用に関する研究(第9報)3,10—ジベンゾイルピレンの環化について」同上
- ◇教授 永井芳男・安倍義人・助手 田辺正士・雇員

- 青山正壮・小尾達郎・清水珍彦「ピレンの利用に関する研究(第10報) α -ピコリンとの関連における染料の合成について」日本化学会第7年会講演会(1954.4.1~4)
- ◇教授 菊池真一・羽生衞侍「銀電位滴定を用いる現象液の反応機構に関する研究」同上
- ◇教授 菊池真一・秋庭知美・坂口喜堅「銀電位滴定法による添加剤の研究—チアゾリジン誘導体について」同上
- ◇教授 菊池真一・大学院特研究生 本多健一・関口英人「自動電位電解装置の一方式」同上
- ◇助教授 山本 寛・助手 丸山 隆「sec—ブタノール—水系の気液平衡と第三成分の影響」同上
- ◇助教授 浅原照三・三好淑子・森 節雄「ニトロパラフィン誘導体に関する研究(第1報)」同上
- ◇助教授 浅原照三・助手 高木行雄・佐藤宗一「p—アルキルアニリンの合成」同上
- ◇助教授 浅原照三・八田 肇「 α -オレフィンに関する研究(第11報)オクタジエンについて」同上
- ◇助教授 浅原照三・大学院特研究生 後藤健一「金属表面上における有機物質の接触角(第3報)」同上
- ◇助教授 野崎 弘・大学院学生 浜野裕司「種々な表面処理を施した金属の水素過電圧について」同上
- ◇助教授 野崎 弘「電極理論の一般論とそのポラログラフへの応用」同上
- ◇助教授 野崎 弘・雇員 藤代光雄「マグネシウム漂白粉に関する研究(第3報)電解生成条件について」同上
- ◇助教授 山辺武郎「イオン交換常衡に関する研究(第3報)pHの変化するイオン交換平衡」同上
- ◇助教授 山辺武郎・平岡源造「イオン交換平衡に関する研究(第4報)ゼオライトの平衡」同上